

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成30年6月21日(2018.6.21)

【公開番号】特開2016-224081(P2016-224081A)

【公開日】平成28年12月28日(2016.12.28)

【年通号数】公開・登録公報2016-070

【出願番号】特願2015-106903(P2015-106903)

【国際特許分類】

G 03 G 21/16 (2006.01)

B 41 J 29/13 (2006.01)

H 05 K 5/03 (2006.01)

F 16 B 5/07 (2006.01)

【F I】

G 03 G 21/16 147

G 03 G 21/16 133

B 41 J 29/12 A

H 05 K 5/03 A

H 05 K 5/03 D

F 16 B 5/07 F

【手続補正書】

【提出日】平成30年5月9日(2018.5.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

画像形成装置の本体に対して回動して開閉可能に設けられた開閉カバーと、

前記開閉カバーに対して開閉可能に設けられた第二カバーと、

前記第二カバーの開放側端部に設けられた係止溝と係合することで、前記第二カバーを前記開閉カバーに対して閉じた状態にロックする第二カバーロック部材と、

前記開閉カバーを前記画像形成装置の本体に対して閉じた状態でロックする開閉カバーロック手段と、

前記開閉カバーの開放側端部に設けられ、前記開閉カバーロック手段によるロックを解除する開閉カバーロック解除ボタンと、を有する画像形成装置であって、

前記開閉カバーロック手段は、前記開閉カバーに設けられ、前記開閉カバーの回動軸線方向において、前記開閉カバーロック解除ボタン側に第1ロック部と、前記開閉カバーロック解除ボタンと反対側に第2ロック部と、を有し、

前記開閉カバーロック解除ボタンを重力方向に押すことにより、前記ロック手段が回動軸線方向に移動し、前記本体に対する第1ロック部材のロックが解除され、かつ前記本体に対する第2ロック部材のロックが解除されることを特徴とする画像形成装置。

【請求項2】

前記回動軸線方向において、前記第二カバーロック部材は、前記開閉カバーロック手段の前記第1ロック部と前記第2ロック部との間に配置されていることを特徴とする請求項1記載の画像形成装置。

【請求項3】

画像形成装置の本体に対して回動して開閉可能に設けられた開閉カバーと、

前記開閉カバーに対して開閉可能に設けられた第二カバーと、
前記第二カバーの開放側端部に設けられた係止溝と係止することで、前記第二カバーを

前記開閉カバーに対して閉じた状態にロックする第二カバーロック部材と、

前記開閉カバーを前記画像形成装置の本体に対して閉じた状態でロックする開閉カバー
ロック手段と、

前記開閉カバーの開放側端部に設けられ、前記開閉カバーロック手段によるロックを解
除する開閉カバーロック解除ボタンと、を有する画像形成装置であって、

前記開閉カバーロック手段は、前記開閉カバーに設けられ、前記開閉カバーの回動軸線
方向において、前記開閉カバーロック解除ボタン側に第1ロック部と、前記開閉カバーロ
ック解除ボタンと反対側に第2ロック部と、を有し、

前記回動軸線方向において、前記第二カバーロック部材は、前記開閉カバーロック手段
の前記第1ロック部と前記第2ロック部との間に配置されていることを特徴とする画像形
成装置。

【請求項4】

前記第二カバーロック部材は、前記画像形成装置の本体に対して閉じた状態において、
前記第二カバーを前記開閉カバーに対して閉じた状態にロックするロックが解除されてい
ることを特徴とする請求項1から3のいずれか1項に記載の画像形成装置。

【請求項5】

画像形成装置の本体に対して開閉可能に設けられた開閉カバーと、
前記開閉カバーを前記画像形成装置の本体に対して閉じた状態で保持するロック手段と
,

を有し、

前記ロック手段は、

前記画像形成装置の本体に設けられた複数のロック部と、

前記開閉カバーに設けられ、前記複数のロック部がそれぞれ係合する複数の被ロック部
と、

を有し、

前記複数のロック部と、前記複数の被ロック部とがそれぞれ係合する複数の係合部のうちで、第一係合部の第一ロック部と第一被ロック部とが係合する第一係合長さは、第二係合部の第二ロック部と第二被ロック部とが係合する第二係合長さよりも長く設定され、且つ、前記第二係合部において前記第二ロック部または前記第二被ロック部の少なくとも何れか一つに亘りの係合位置に引き込む斜面部を有することを特徴とする画像形成装置。

【請求項6】

前記ロック手段と連動したロック解除部材が前記画像形成装置の本体に備えられている
ことを特徴とする請求項5に記載の画像形成装置。

【請求項7】

画像形成装置の本体に対して開閉可能に設けられた開閉カバーと、
前記開閉カバーを前記画像形成装置の本体に対して閉じた状態で保持するロック手段と
,

を有し、

前記ロック手段は、

前記開閉カバーに設けられた複数のロック部と、

前記画像形成装置の本体に設けられ、前記複数のロック部がそれぞれ係合する複数の被
ロック部と、

を有し、

前記複数のロック部と、前記複数の被ロック部とがそれぞれ係合する複数の係合部のうちで、第一係合部の第一ロック部と第一被ロック部とが係合する第一係合長さは、第二係合部の第二ロック部と第二被ロック部とが係合する第二係合長さよりも長く設定され、且つ、前記第二係合部において前記第二ロック部または前記第二被ロック部の少なくとも何れか一つに亘りの係合位置に引き込む斜面部を有することを特徴とする画像形成装置。

【請求項 8】

前記ロック手段と連動したロック解除部材が前記開閉カバーに備えられていることを特徴とする請求項7に記載の画像形成装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

前記目的を達成するための本発明に係る画像形成装置の代表的な構成は、画像形成装置の本体に対して回動して開閉可能に設けられた開閉カバーと、前記開閉カバーに対して開閉可能に設けられた第二カバーと、前記第二カバーの開放側端部に設けられた係止溝と係合することで、前記第二カバーを前記開閉カバーに対して閉じた状態にロックする第二カバーロック部材と、前記開閉カバーを前記画像形成装置の本体に対して閉じた状態でロックする開閉カバーロック手段と、前記開閉カバーの開放側端部に設けられ、前記開閉カバーロック手段によるロックを解除する開閉カバーロック解除ボタンと、を有する画像形成装置であって、前記開閉カバーロック手段は、前記開閉カバーに設けられ、前記開閉カバーの回動軸線方向において、前記開閉カバーロック解除ボタン側に第1ロック部と、前記開閉カバーロック解除ボタンと反対側に第2ロック部と、を有し、前記開閉カバーロック解除ボタンを重力方向に押すことにより、前記ロック手段が回動軸線方向に移動し、前記本体に対する第1ロック部材のロックが解除され、かつ前記本体に対する第2ロック部材のロックが解除されることを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】図面

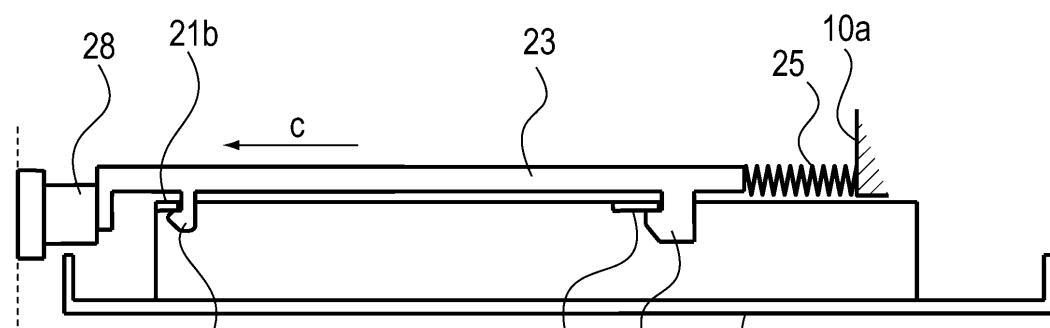
【補正対象項目名】図3

【補正方法】変更

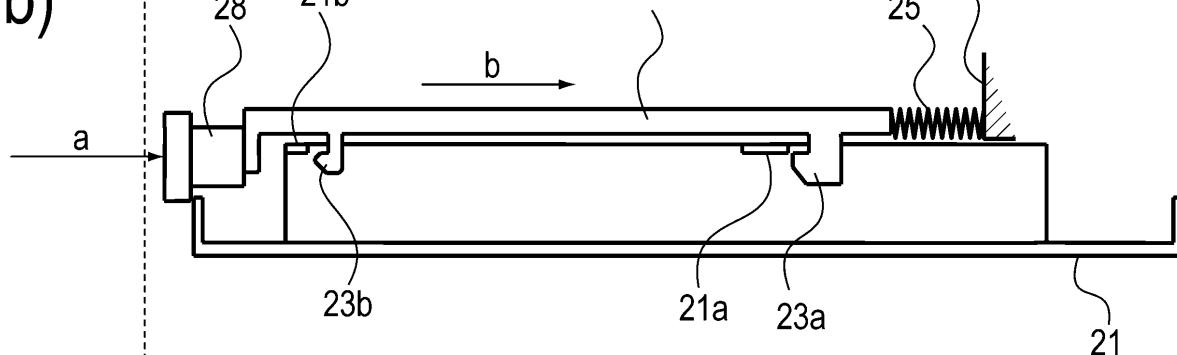
【補正の内容】

【図3】

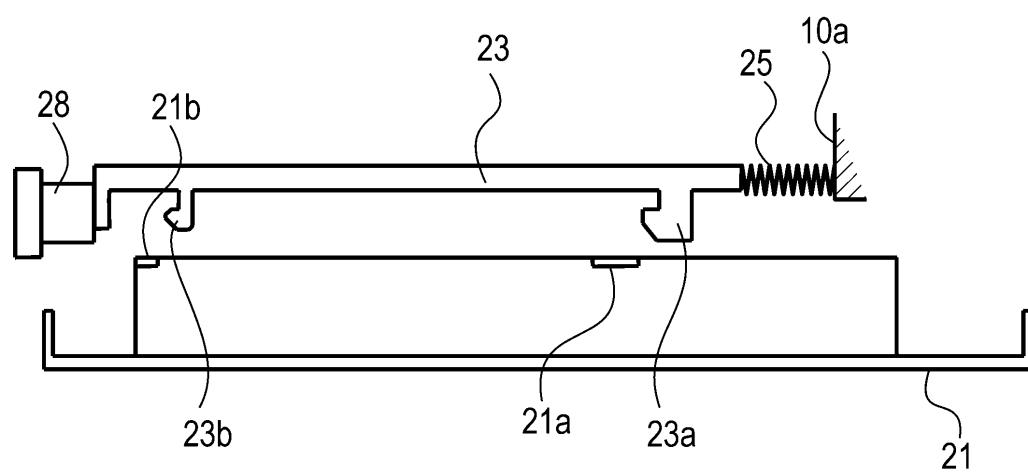
(a)



(b)



(c)



(d)

